



2026 年 10 月 1 日

各 位

上場会社名 株式会社レゾナック・ホールディングス
コード番号 4004 東証プライム市場
代表者名 代表取締役社長 高橋 秀仁
問合せ先 プラント・コミュニケーション部長 尾縣 香名子

クラサスケミカル（石油化学事業）のパーシャル・スピノフの実行完了に関するお知らせ

本日、石油化学事業を営む当社の完全子会社であるクラサスケミカル株式会社（以下「クラサスケミカル」）のパーシャル・スピノフ（以下「本スピノフ」）としての現物配当の効力が発生し、本スピノフの実行が完了しましたので、お知らせします。本スピノフの実行により、当社が保有するクラサスケミカルの普通株式（以下「クラサスケミカル株式」）の持分比率が、18.57%となったことに伴い、クラサスケミカルは当社の連結子会社ではなくなり、かつ、当社はクラサスケミカルに重要な影響力を有していないため、持分法適用対象外となりました。

記

1. 現物配当（金銭以外の財産による配当）に係る配当財産の帳簿価額

本スピノフの実行により、配当財産の帳簿価額は、以下のとおり確定しました。

(1) 配当財産の種類	クラサスケミカル 普通株式
(2) 配当財産の帳簿価額の総額及び1株当たり価額	37,989,829,147 円（1株当たり 199.02 円）* ¹
(3) 現物配当により減少する資本の額等	利益剰余金 37,989,829,147 円* ^{1,2}

*1. 上記の金額は、日本の会計基準に基づく当社の個別財務諸表に計上されているクラサスケミカル株式の帳簿価額のうち、本スピノフにおいて現物配当されるクラサスケミカル株式の持分比率相当額です。なお、上記の1株当たり価額は会計上の帳簿価額に基づく金額であり、クラサスケミカル株式の実際の取引値段・株式価値を示唆するものではありません。

*2. 日本の会社法上、分配可能額は、日本の会計基準に基づく当社の個別財務諸表の資本の額等に基づき計算されるため、上記では当該個別財務諸表における資本への影響を記載しています。一方、国際財務報告基準（以下「IFRS」）に基づく当社の連結財務諸表においては、現物配当されるクラサスケミカル株式の公正価値に相当する金額を資本から減額します。

2. 税務上の分配資産割合

本スピノフの実行により、分配資産割合は、2026 年 9 月 28 日に開示した確定見込値から変更なく、以下のとおり確定しました。

分配資産割合（確定値）：「0.085」

なお、分配資産割合とは、日本の税制上、本スピンオフ直後における当社の普通株式及び本スピンオフにおいて現物配当されるクラサスケミカルの普通株式について、それぞれの税務上の取得価額を算出するために必要となる係数です。現物配当の基準日である 2026 年 9 月 30 日時点の当社株主の皆様に対して、2026 年 11 月上旬頃に発送予定の通知も併せてご参照ください。

3. 本スピンオフによる当社連結業績への影響

本スピンオフとしての現物配当の効力発生に伴い、国際財務報告基準第 10 号「連結財務諸表」に従い、クラサスケミカルセグメントに対する支配の喪失に伴う会計処理を行います。当該事象の発生が当社連結業績に与える影響額については、現在精査中であり、開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

※本スピンオフに伴う会計処理の詳細については、2026 年 8 月 25 日付「クラサスケミカル（石油化学事業）のパーシャル・スピンオフの実行に関する決議のお知らせ」をご参照ください。

クラサスケミカル（石油化学事業）のパーシャル・スピンオフの実行に関する決議のお知らせ：

https://www.resonac.com/system/files/2026-08/20260825_Resonac_news_j.pdf

なお、本スピンオフの詳細については、以下の当社ウェブサイトをご参照ください。

クラサスケミカル株式会社のパーシャル・スピンオフについて：

<https://www.resonac.com/jp/ir/crasus/notice20260706.html>

以 上

本発表文は証券の売付けの申込み、又は、証券の買付けの誘引もしくは申込みの勧誘を行うものではありません。本発表文は、クラサスケミカル（石油化学事業）のパーシャル・スピンオフの実行完了を一般に公表するものであり、投資の勧誘又はその他の類似行為を行うためのものではありません。米国 1933 年証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の勧誘又は販売を行うことはできません。